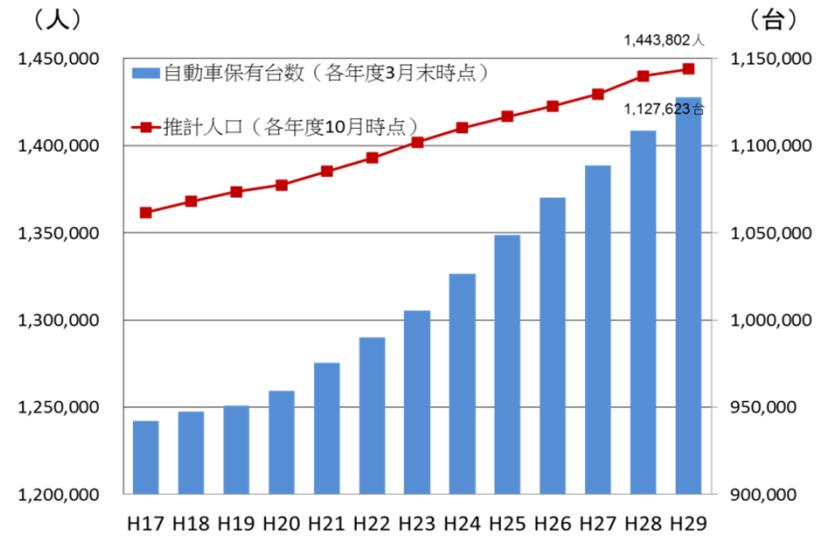


# 背景ならびに 本日の会議の内容

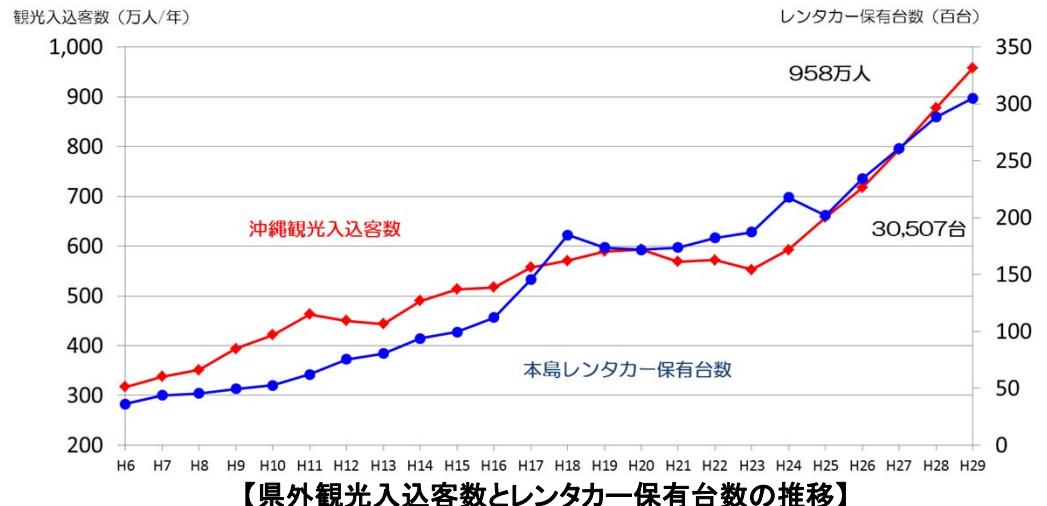
# 沖縄における道路交通の現況

- 人口・自動車数の増加にともない、中南部圏域の交通容量が不足しているため慢性的な交通渋滞が発生。
- 観光客も含め、県民の足は自動車に依存しており、道路ネットワーク整備とソフト対策が急務。

## 1. 沖縄県の人口増加に伴い、自動車保有台数も増加

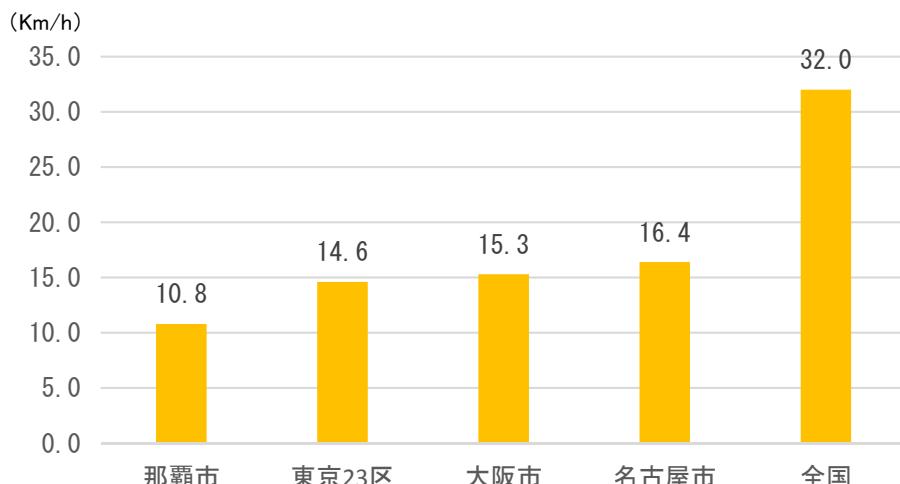


## 2. 観光客の移動手段はレンタカー



出典: 平成30年度入域観光客統計概況(沖縄県)、H30年度版 運輸要覧・業務概況(沖縄総合事務局)

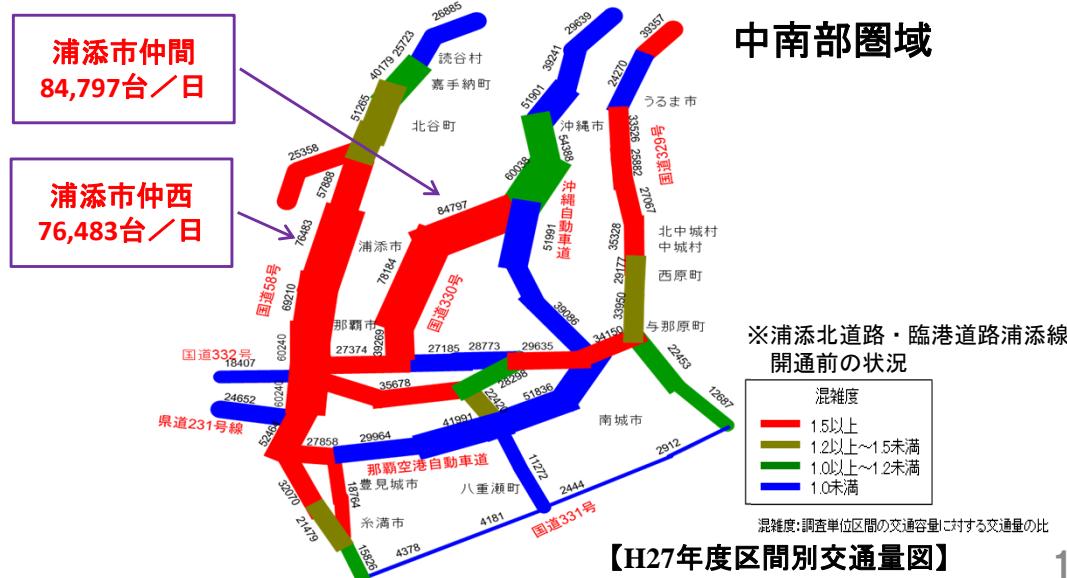
## 3. 那覇市内の速度は全国ワーストクラス



【平成27年度混雑時旅行速度 比較】

（データ:H27全国道路・街路交通情勢調査）

## 4. 中南部圏域の主要幹線は容量オーバー



## 中間とりまとめの概要

### 【検討の背景】

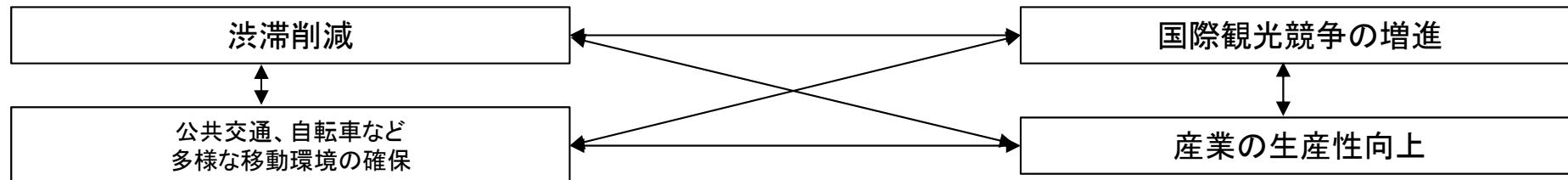
全国一の渋滞

極端なマイカー依存

観光客の急増

高齢化の進展

### 【目指すべき方向性】



### 【取り組むべき施策(主な対策例)】

#### 道路ネットワーク整備等

- 1) ハシゴ道路ネットワーク等、幹線道路網の整備
- 2) 渋滞ボトルネック箇所における交差点改良及び立体化
- 3) インターチェンジの整備推進

#### 地域の公共交通システムの再編・活性化

- 1) 公共交通の整備・再編(都市モノレールの効率化、基幹バス(BRT等)の導入、バス網の再編)
- 2) 交通結節点の整備(異なる交通モード間の接続[モーダルコネクト]の強化)  
各地域の結節点の創出に向けた戦略的展開(てだこ浦西駅P&R、旭橋BT)
- 3) 歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編・創出(国際通り再編、自転車利用の促進)

#### 公共交通の使いやすさの向上

- 1) 使いやすさの向上に向けた情報提供システム等の整備
- 2) ICカード等を活用した公共交通利用促進策
- 3) 観光客の公共交通活用対策(結節点の有効活用、分かりやすい情報提供、ビッグデータや  
IoT活用など最先端の取り組み、クルーズ船の観光客受け入れ体制の整備)
- 4) 賢い道路の利用(県民意識への効果的な働きかけ)

所属	氏名	所属	氏名
沖縄県経営者協会会長	安里 昌利	(公社)沖縄県トラック協会 会長	佐次田 朗
株式会社新垣通商 常務取締役	新垣 美佳	那覇市長	城間 幹子
琉球大学工学部部長	有住 康則	沖縄県中小企業家同友会 代表理事	新城 恵子
沖縄県副知事	浦崎 唯昭	旭橋都市開発株式会社 代表取締役社長	平良 敏昭
沖縄科学技術大学院大学(OIST)教授	北野 宏明	日本旅行業協会(JATA)理事	東 良和

